日刊　第19019号　（昭和24年1月19日第三種郵便物認可）　福島中央新報　（毎週月曜・祝翌日休刊）　平成24年1月29日（日曜日）

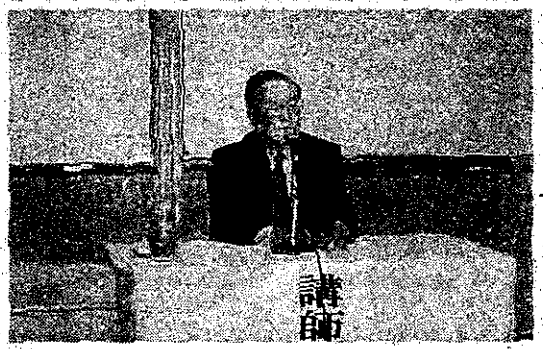
福島中央新報

発行所
二本松市亀谷1の241
福島中央新報社
TEL (22) 1315(代)
FAX (22) 1316

大七 生もと
こだわりの酒。
大七

森本敏さんの講演を

まつしん信友会協議会 合同新年会も開催



講師

まつしん信友会協議会（会長・窪田弘本店信友会）二本松信用金庫主催、まつしんビジネスサポートクラブ（岩手経営者の会）共催による第二十九回まつしん信友会新春講演会ならびに合同新年会は去る二十四日夜、二本松市金色久保の二本松御苑で開かれ、二本松信用金庫の本店営業部会員、会員数五百九人）と講演会では、目の前の課題である外交問題などについて日本がこれからどうするのか、お忙しいなか森本敏先生においでいただきお話をきくことになった。地域住民の幸せは地域企業の発展なくしてはありえない。今年は楽しく明るく笑顔でいられる1年になるよう祈っている」とあいさつ＝写真上＝。山口純一二本松信用金庫理事長からも信友会会員の日頃のご愛顧に感謝するとともに「昨年は大震災、原発事故など大変多難な一年だった。今年は皆さんにとってよい年になるよう願う」とあいさつがあった。講師の拓殖大学大学院教授の森本敏さんから

と根崎、金色、安達、東和、岩代、本宮各支店信友会会員とビジネスサポートクラブ会員、一般市民ら約二百人が参加した。二本松商工会議所とあだたら商工会、本宮市商工会、大玉村商工会、福島中央新報社などの後援。

まつしん信友会協議会は、二本松信用金庫の利用者により各営業店単位で組織されている「まつしん信友会」会員相互の親睦を図るとともに、体育の増進と道義の涵養に資することを目的に活動しており、新春講演会ならびに合同新年会も恒例となっている。

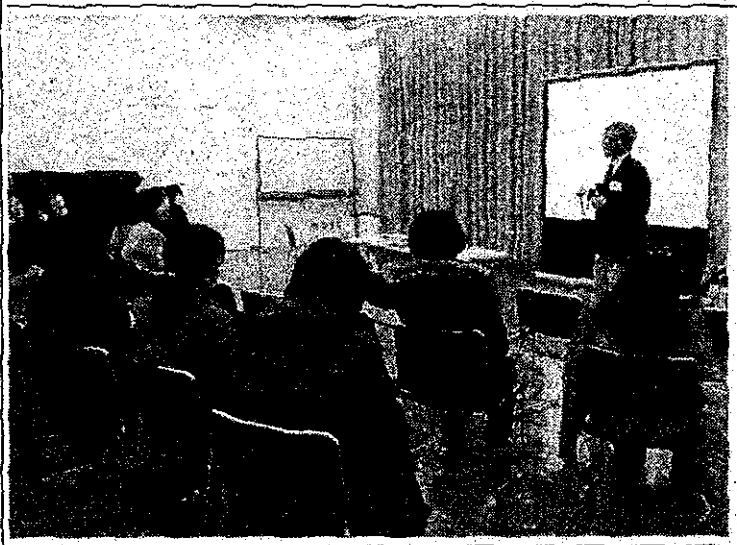
はじめに窪田弘信友会協議会会長から「今日の新春

東日本・家族応援プロジェクト

今日29日まで交流センター

立命館大学院応用人間学科主催、NPO法人子育て支援グループ"こころ"、NPO法人ピーンズふくしま、ふくしまの笑顔をつなぐボランティアグループ"ひらそる"共催の「東日本・家族応援プロジェクトin二本松2012」がJR二本松駅前市民交流センターで行われている。

二十八日には子供たちが楽しく遊べる「遊びのワークショップ」と「子育て支援セミナー」が行われ、午前に行われた講演会「就学前までの子どもの発達の姿と関わり方」では、立命館大学院応用人間科学研究科中村隆一教授が、0歳から六歳までの就学前の子どもの発達について、子どもの姿を見ていると不思議に感じてしまうことがたくさんあり、時には親や周りの大人が困ってしまうことがある。そんな大人から見た子どもの困った姿は、実は興味深い発達の姿であることがよくあることを、映画「となりのトトロ」の登場人物など、子どもの姿を紹介しながら発達的意味や関わり方などについて講演した＝写真＝。また午後には日頃の子育ての悩みなどを話す「保護者のためのグループ交流会」も行われた。



このプロジェクトは本日二十九日の正午まで行われ、二十三日から開催されている「団士郎家族漫画展」「遊びのワークショップ」の他、「支援者支援セミナー」、支援者のためのグループ交流会」が午前十時から行われる。

教育委員長に宮前さん再任

二本松市教育委員会は二十八日、市役所三階の教育委員会室で会議を開き、委員の互選により委員長に宮前貴委員（66）（大壇）を再任した。任期は一年。

天気予報　西の風晴れ時々くもり。所により雪。